



# SIC Information

Vol.1 2007年1月 創刊号  
by Sonoda Internet Campus

インターネットキャンパスでは、学習支援の手段の1つとして挙げられる「e-Learning」を教材作成から講義運営までを総合的にサポートしている機関です。

※「SIC」とはそのだインターネットキャンパスの略称です。

<http://www.sonoda-u.ac.jp/sic/>

主な記事 1面：インターネットキャンパス WEBサイトをリニューアル  
2面：2006年度のインターネットキャンパスの状況／「SIC-ML コンテンツ募集」／編集後記

刊  
集  
創  
特

インターネットキャンパスの

# WEBサイトをリニューアル

そのだインターネットキャンパスとは、教員と学習者がインターネット上で双方向のコミュニケーションをとることを目的として開発されたe-Learningの学習支援システムです。2000年度から本格的にスタートしたこのシステムや学習内容は、今日までに着実に進化し、現在では分野や科目数が増え、利用者も年間3000名を超えるようになりました。

このe-Learningのシステムを効率よく、また、新しい試みを展開していくためにWEBサイトをリニューアルしました。

ご覧いただいているこの広報誌の創刊のご挨拶を含め、インターネットキャンパスの所長である堀田博史先生にコメントをいただきました。

## 所長よりのご挨拶

本学では、1998年からインターネット技術を利用して、インターネット上にキャンパスを構築してきました。設置の目的は、学生により学びやすい環境を提供するために、学内外で場所や時間を問わずに学習できる環境を実現することであり、また、そのシステムを利用して、学習者間または学習者と教員がインターネット上で双方向のコミュニケーションを如何にとるかということにあります。

まもなく2007年度を迎えますが、今後もe-Learningの導入が高等教育や生涯学習の分野でさらに加速して普及することが予



WEBサイトトップページ

想され、e-Learningでの学びが特別なものではない時代となってきました。本学でも、「自己学習・協同学習で、学習者と教員・学習者同士がコミュニケーションを図りながらの学びが成立するか」を学びのテーマにしたe-Learningを導入して、約10年が経過しようとしています。

これらの取り組みをさらに充実させていくために、2005年11月に情報教育センター内にe-Learningを専門に行う部署として「インターネットキャンパス」の組織が再構築されました。その新しくできた組織で、まず未来デザイン学部・文化創造学科の教員すべてが、e-Learning科目に関わるというプロジェクトがあります。そして、高校生が大学の授業を学ぶという高大連携授業をe-Learningで実現しています。そこでは

昨年度よりも約2.5倍の高校生が学びました。その他、生涯学習を含めた4つの分野でより充実したe-Learningを教材作成から運営まで幅広く支援していきたいと考えています。

そして、その環境を充実させた形の1つとして、インターネットキャンパスのWEBサイトを全面リニューアルしました。ここできざまな情報を発信していきますが、その中でも、インターネット上で無料で閲覧できる映像コンテンツを分野別におき、講義などをテレビ感覚で楽しむことができる「そのだインターネットキャンパスメディアライブラリ」を試行的に展開していきます。コンテンツ充実のために教職員の皆様にお願いがあると思いますが、是非ご協力をお願いいたします。

今後より一層の充実したトータルサポートを目指していく所存でございますので、皆様のさらなるご支援をよろしくお願いたします。



SIC-ML コンテンツ画面

# 2006年度 インターネットキャンパスの状況

◆学内専門科目（基礎情報科目を含む）

学科等	科目名	担当教員	学生数
共通科目	基礎情報処理、応用情報処理、情報スキルアップ	情報教育センター業務教員	2649
	博物館概論	赤井 孝史	
	美の創作と表現	岩崎 日出男	
	プログラミング言語 I	宇治 典貞	
未来デザイン学部	データベースデザイン	大江 篤	
	怪異・怪談の文化	小田桐 良一	
	通信・ネットワーク基礎	川上 恭子	
	インターフェースデザイン	五島 邦治	
	日本語の教育	山本 恒	
	祭りと芸能	門田 泰典	
	語彙から見た日本語	山本 恒	
	時代と日本語	山本 恒	
	メディアシステム概論	山本 恒	
	情報科学デザイン I	山本 恒	
	図書館・情報学概論	山本 恒	
	情報・メディア論	山本 恒	
	アクセス・サービス論	山本 恒	
	情報組織論	山本 恒	
	通信・ネットワーク基礎	山本 恒	
	モデル化とシュミレーション	山本 恒	
国際文化学部	情報処理技法 II	山本 恒	
	情報処理技法 I	山本 恒	
	メディアシステム概論	山本 恒	
	インターネットコミュニケーション	山本 恒	
	情報倫理	山本 恒	
	情報コミュニケーション特論 II	山本 恒	
	ネットワークとプレゼンテーション	山本 恒	
	ベンチャービジネス論	山本 恒	
	創造性開発	山本 恒	
	日本語教育概説	山本 恒	
人間健康学部	健康学演習	山本 恒	
	経験値セミナー II	山本 恒	
	栄養学	山本 恒	
	食品学各論	山本 恒	
	食品学実験 II	山本 恒	
	食品商品学	山本 恒	
	総合健康特別講義	山本 恒	
	情報倫理	山本 恒	
短期大学部	メディア演習 II	山本 恒	
	アプリケーション演習 II	山本 恒	

◆高大連携・Sonoda e-Learning HighSchool 科目

高校名	科目名	担当教員	学生数
1 豊岡高等学校	プログラミング入門	山本 恒	402
2 宝塚西高等学校	歴史学を楽しむ 他	五島 邦治 他	
3 川西明峰高等学校	源氏物語 他	福嶋 昭治 他	
4 園田学園高等学校	プログラミング入門	山本 恒	
5 加古川北高等学校	源氏物語	福嶋 昭治	
6 武庫之荘総合高等学校	プログラミング入門	山本 恒	
7 龍野高等学校	デザイン入門 他	垣東 弘一	
8 芦屋高等学校	表計算ビジネス関数にトライ	堀田 博史	
9 能勢高等学校	画像処理 トリミングとサイズの縮小	山本 恒	

※他、実施検討中5校

現在インターネットキャンパスでは、左図のような在学生向けの「基礎情報教育科目」「学内専門教育科目」や、大学と高等学校の「高大連携科目」、高等学校の授業の1コマにe-Learningを活用し、高大連携の体験授業ともいえるべき「Sonoda e-Learning HighSchool 科目」、一般市民向けの「生涯学習（一般公開）科目」などの分野でコンテンツを提供しています。今年度「学内専門教育科目」は43科目（開講予定科目を入れると約50科目）が開講され、受講生は延べ約2650名にのぼり、「高大連携・Sonoda e-Learning HighSchool 科目」については、9校の合計約400名の高校生がインターネットキャンパスでの授業を受講しています。

e-Learning という学習支援の手段は、WEB上で授業を行い、いわゆる座学の授業は一切行わないと思われることがあります。が、決してそうではありません。確かにすべての授業をWEB上で行う完全e-Learningのタイプもありますが、座学と組み合わせる授業の一部にe-Learningを活用するもの（授業外での予習・復習、課題の提出箱や資料のダウンロード先、掲示板などの意見交換）も数多くあり、用途は授業に応じてさまざまです。



但し、どのタイプにおいてもそこには学習者同士、または学習者と教員でなんらかの双方のやり取りが行われており、それがe-Learningで学習することに意味があると我々は考えています。

また、実際の教材作成については、その教材を作成するための資料の提供や作成したい教材のイメージの具現化まではその科目を担当する先生方にお願していますが、実作業については、インターネットキャンパスが行っています。先生方の授業や各部署の業務にあった教材が作成できるかを判断するためのサンプル教材をこちらで作成することも可能です。

現在は今年度後期科目の運営支援に加え、来年度開講予定科目の作成に取り掛かっています。今後も万全の支援体制で教材作成から運営まで行っていきます。

## SIC-ML コンテンツ募集

インターネットキャンパスでは、WEB上でテレビ感覚で講義の閲覧ができる、いわゆるインターネットテレビ「そのだインターネットキャンパスメディアライブラリ」を試行的に運営していきます。その中で発信する先生方のミニ講義を募集していますので、興味がありましたら是非ご連絡ください。

お問い合わせは インターネットキャンパス 雑喉まで（内線：3053）

### 編集後記

インターネットキャンパスというe-Learning 専門の部署が発足してはや1年が経過し、私個人としては、この1年間でe-Learning の知識や活用する能力はある程度身についたと思っております。その中で最も強く感じることは、e-Learning というものの多様性です。e-Learning が授業や業務に役立つかどうか、少しでも興味をもたれるようであれば、是非ご連絡ください。お待ちしております。